

## 巻頭言

「収束の見えない混乱の中で」

安楽寺住職・SVA会長 若林恭英

先の安楽寺報で寺にある満州開拓団慰霊碑のことに触れましたが、当時のことをもう少し知りたいと思い、手にしたのは宮尾登美子著「朱夏」でした。そこには自身、満州開拓団の一員として渡満した体験を通し、その実態がリアルに描写されていて、国策に翻弄され難民となった団員の悲惨な逃避行における血と涙と無残な最期をわずかばかり知りえました。まず驚いたことに渡満したのが昭和20年の4月だったこと。同年3月には東京大空襲、6月には沖縄陥落という敗戦間近な時に、なぜ危険をおかしてまで渡ったのか、なぜ止められなかったのか。そこに正しい情報に接することのできない当時のどうしようもない空気を感じました。これこそ現代の教訓にしなければならないでしょう。

このように考えていた矢先、信濃毎日新聞にある記事が掲載されていました。それは、飯田市の小学校6年生10人が地元にある開拓団慰霊碑に名前の刻まれた犠牲者らのデータベースを作ったという記事でした。

満蒙開拓平和祈念館(阿智村)での学習や住民への聞き取りで、犠牲者の年齢や亡くなった場所、理由などを記録。こうして生徒は「多くの方が収容所で、冬に病気で亡くなっている」と気づいたという。

こうした取り組みは、平和への想いを継承していく上で未来へのメッセージとなるでしょう。一方、連日報道されているウクライナ情勢は益々エスカレートし、先の見えない状況です。こうした戦時下に暮らす人々が思いやられます。またメディアの報道は少なくなっていますが、アフガニスタン・ミャンマーの国内状況は益々過酷なものになっています。シャンティは現在これらの国にスタッフを常駐させ、民間の支援者による浄財を運用し緊急支援を継続しています。

近い将来必ず平和が訪れることを信じて。



贈られた絵本を手にするアフガニスタンの少女



春のお彼岸

## 【春彼岸合同法会について】



二月に入り県内の感染者数も減少傾向にありますが、感染の波もあり未だ蔓延している状況に鑑み、例年、彼岸中日(春分の日)に修行しております彼岸合同法会につきましては、感染防止対策の為、合同法会は昨年同様に恒例のチャリティ寄席及び法要後の御齋(昼食)を行わずに規模を縮小して法要のみ行うことに致します。

法要当日は、本堂内の換気及びマスク着用や手指消毒等、感染予防対策を講じます。なお、年回忌にあたる方には、別紙にて法要案内致します。

何卒、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。



## 沙羅の会たより



平成16年3月に誕生した沙羅の会も18才、無事成人になりました。昨年もコロナ禍の影響により、活動も自粛気味でしたが、ウクライナの皆さんへSVAを通じ、微力ながら募金をしました。

いつ終わるのか不安だった、コロナ感染もやっと先が見え、5月にはインフルエンザと同じレベルになります。

今年はクラフト販売や絵本を届ける運動だけでなく、小旅行やランチなど今まで出来なかった会員相互の懇親など、少しずつ再開していけたらと思います。

沙羅の会に興味のある方、一緒に活動したい方、どうぞ寺までお声がけください。

随時、会員募集中です。



## 【墓参時のマナーについて】



以前にもこの誌面でお願いましたが、墓参に際し、使用されました花束のセロファンやお供えものなどは必ずお持ち帰りください。

動物に荒らされたり、境内の景観が損なわれ、ご先祖さまも悲しみます。

また、古くなりましたお塔婆は、墓参通路にあるお炊き上げ箱に入れてください。お炊き上げ箱はごみ箱ではありませんのでゴミは捨てないでください。

皆様が互いに気持ちよく墓参が出来るよう協力して山林美化に努めましょう。

ご協力お願いします。



## 安楽寺書画シリーズ ⑬



### ◇池上秀畝（いけがみ しゅうほ）双鶏図◇

明治7年、現在の伊那市に紙商兼小間物屋の次男として生まれる。幼少期より絵画に親しみ、15歳で小学校を卒業後、本格的に絵師になるため上京。荒木寛畝の門下で文人画を学ぶ。大正8年帝展無鑑査となり、後に後進の指導に尽力。晩年も力作を次々と発表したが、昭和19年没。

## 国宝八角三重塔の特別開扉

趣旨 信州上田・塩田平が日本遺産に認定されて3周年のイベントに合わせ国宝八角三重塔の特別開扉を行う。  
日時 令和5年6月18日(日)  
10時～16時  
内容 国宝八角三重塔特別開扉  
本尊「大日如来」拝観

## 法輪寺たより

新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めて3年が経過しました。収束するということは難しいのかもしれませんが、5月過ぎには感染症の分類が見直され少しずつ規制が緩和されていくようですが、コロナ禍と向き合っていく日々は変わりません。

そんな中で今年も正月のご祈禱を行い、今後も規制緩和に伴い、状況を鑑みながら花まつりや地藏まつりなど法輪寺としての行事を進めていきたいと思えます。

この数年、皆様と寄り添う機会が減ってしまいました。「禅定」ということばがありますが、「人間は必ず人間に救われる」ということ。人間は喜びも悲しみも痛みも笑顔も分け合っています。決して一人では生きていきません。このような時代だからこそ今後も変わらずに皆様と寄り添いながら寺院運営をしていきたいと思えます。

法輪寺住職 若林宜範



## 令和5年前期行事のお知らせ

### 【写経会】

場所 安楽寺  
期日 5月19日(金)、6月17日(土)、7月15日(土)  
時間 各回午後2時より  
会費 1,000円

日常では味わえないひと時をいかがでしょうか。お経に親しむ講座も併せて行っています。初心者大歓迎。正座ではなく、椅子席となっております。

※参加費は、アジアの子ども教育支援に役立てられます。

※持ち物：書道用具一式（お手本・写経用紙はお寺で用意します。）

※参加ご希望の方は、お電話でお申し込みください。



「写経会」・「札所めぐり」は、今後の感染状況により中止となる場合がございます。

### 【春の塩田平札所めぐりのお誘い】

春の塩田平で四国霊場をお遍路してみませんか。歩くことでさらに新たな発見があるでしょう。

また、塩田平は「太陽と大地の聖地」として、日本遺産に認定（詳しくは[日本遺産](#)で検索ください）されています。

この機縁に、魅力溢れる文化に触れてみましょう。

とき：4月23日(日) 午前8時半 安楽寺集合

参加費：300円

持ち物：弁当、飲み物、雨具など他必要な物

コース：西塩田・別所コース

安楽寺（別所）→北向観音（別所）→大湯薬師堂（別所）→瑞光寺（野倉）→無量寺（手塚）→満願寺（山田）→観音堂（新町）→中禅寺（西前山）→龍光院（東前山）

※参加ご希望の方は5日前までに先達寺院（安楽寺）にお電話にてお申し込みください。

※札所巡り朱印帖・朱印軸はあらかじめ購入しておいてください。（安楽寺でも購入できます）

※御朱印は、各札所200円。

※参加者全員に、別所温泉共同浴場の入浴券を進呈致しますので、札所めぐりの疲れを癒してください。

### 【こども禅の集い】

第12教区曹洞宗青年会の令和5年度事業として、安楽寺を会場に小学生を対象とした坐禅会を下記日程にて開催します。

皆様のご家族やお近くの小学生でご興味のある方は、安楽寺副住職までご連絡ください。

日時 令和5年6月24日(土) 9:00～12:00

お申込み、お問合せ先 安楽寺 ☎0268-38-2062